

ASICS通信

60th Term

2013.4.1~2013.9.30



証券コード: 7936

アシックスの軸足—社長メッセージ

成長が期待できる地域・分野に経営資源を集中し、 「AGP2015」の達成を目指します。

国内外で好調を維持し前年同期間比で 増収増益を達成

2014年3月期(第60期)の第2四半期累計期間(2013年4月1日から9月30日まで)の連結業績は、健康志向によるスポーツへの関心の高まりやランニングブームを背景にグローバルレベルでの事業の強化・拡大を図り、売上高は1,536億円、営業利益は138億円、四半期純利益は79億円と前年同期間比で増収増益となりました。

最重点地域である米州は、ランニングシューズが引き続き好調に推移したため、現地通貨ベースで2桁の成長を持続しました。また、経済危機が続く欧州でもランニングシューズが好調で増収となりました。この1月に組織再編を行った国内は、「オニツカタイガー」ブランドやウォーキングシューズが好調で、市場成長が横ばいのなかでも増収を確保しました。



代表取締役社長CEO
尾山 基

アメリカとブラジル・メキシコを中心とする 米州で成長を加速

中期経営計画「アシックス・グロース・プラン(AGP)2015」の目標に掲げた2016年3月期の連結売上高4,000億円の達成に向け、市場規模が大きく、かつ安定成長が期待できる米州を最重点地域と位置付けています。

アメリカでは、当社製品は「シリアス(熱心な)ランナー」向けの一류ブランドとして認知されていますので、積極的なチャネル展開による成長の加速を目指しています。具体的には、お客様との接点となる直営店を2013年3月末の8店舗から、2013年末までには22店舗にまで拡大する計画であり、2013年4月からは独自のインターネット販売サイトを立ち上げ、利便性の向上と取扱品目数の拡大を図りました。

また、ブラジルと周辺国を強化するとともに、2013年7月にメキシコにおける販売強化のため、販売子会社を設立し、同国での営業活動を強化するほか、マーケティングやプロモーション活動を的確に実行することでブランド力を高めていきます。

国内では組織再編の効果も表れ成長軌道を維持

国内では、2013年1月に世界本社機能と日本事業を分離させる組織再編を実施しました。この組織再編によって、流通チャネルに応じた販売・施策を迅速かつ、きめ細やかに実施できる体制となり、国内の成長軌道を確固たるものにするための体制は整いました。オニツカタイガーショップやアシックスウォーキングショップの拡大が順調に進んでいるのは、その成果の1つと言えるでしょう。

国民的スポーツであるベースボール事業では、米国MLB(メジャーリーグベースボール)テキサス・レンジャーズのダルビッシュ有選手とアドバイザー契約を締結しました。ダルビッシュ有選手が最高のパフォーマンスを発揮できるよう、最高の製品を開発するなど全力でサポートすると同時に、同選手を起用したマーケティング活動をグローバルで行うことなどによりブランド価値の向上を図ります。

また、当社は、2009年11月よりシューズに特化してゴルフ事業に本格的な市場再参入を果たしましたが、さらなる事業の発展を目指し、ゴルフ用品で高いブランド力と販売網を持つダンロップスポーツ株式会社と業務提携を行いました。当社はシューズの開発・生産に集中し、新しい機能構造やデザインを採用した製品を幅広く展開していく予定です。

グループの成長を牽引する世界本社機能を強化

アシックスグループの持続的な成長に向け、経営体制のグローバル化も進めています。2013年1月の組織再編により、神

戸の世界本社がグループ全体の戦略立案と遂行を担い、世界各地域のグループ会社がそれぞれの地域特性を踏まえて諸施策を実行する体制としました。加えて、本社の商品開発や法務・コンプライアンスを統括する部門のトップに外国人を採用したほか、人財の確保と育成についても、グ

ローバルな感覚を持った人財を重視する方向へシフトしつつあります。現在、国内で13カ国の外国籍の社員がグローバルの視点を持って多方面で活躍しており、社内の重要な会議もそのほとんどが英語で行われています。また、グローバル会議を海外で行うなど、グローバルな執行体制が確立できつつあると手ごたえを感じています。



スポーツを通して世界の人々と 社会に貢献し成長していく

2013年9月に行われたIOC(国際オリンピック委員会)の総会において、2020年オリンピック・パラリンピックの開催都市が東京に決定しました。招致委員会の公式スポンサー企業として、この決定を大変嬉しく思います。これからも大会の成功に向け、新たな責任感を胸に力を尽くしていく所存です。

同大会は、東日本大震災から復興していく大きな力となり、また、世界中の方々からの温かい支援に対する感謝を示す最高の舞台となるはずです。世界のトップアスリートが競技に挑む姿を通じ、日本中のスポーツを愛するすべての人々、特に若者や子ども達がスポーツに親しみ、スポーツの素晴らしさを体感することで、明るい未来を信じて夢と希望を持って前進してくれるものと確信しています。

中期経営計画AGP2015は、ちょうど折り返し地点を迎えました。目標に掲げた2016年3月期の連結売上高4,000億円にはまだ開きがありますが、コア事業であるランニング事業や、当社の強みを発揮できるアスレチックスポーツのカテゴリーに経営資源を優先的に振り向け、AGP2015の目標達成を目指します。

株主の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2013年11月

代表取締役社長CEO

尾山 基



「GT-2000 NEW YORK 2」

流れるような走り心地を実現
ランニングシューズの
グローバルスタンダードモデル



2 「モーションサーモ シリーズ」

吸湿発熱機能がある
新開発の素材を採用
暖かさを体感しやすいウェア



「CALIFORNIA 78 TS」

オニツカタイガーブランドの
子ども靴

3



4

「GIRO」

当社アンバサダーのSHELLYさんが
デザインに参画したパンプス



「A77 シリーズ」

水嶋ヒロさんをCMに起用した
人気シリーズ
機能的な胸ポケットを搭載

5

南アフリカおよびオーストラリアのラグビー協会と契約を締結

南アフリカ共和国ラグビー協会 (SARU) のオフィシャルサプライヤーおよびオーストラリアラグビー協会 (ARU) のオフィシャルスポンサーに決定しました。

SARUとの契約は2014年1月1日から2019年12月31日までの6年間で、ウェア各種を提供します。一方、ARUとの契約は2014年1月1日から、ウェアやシューズを提供します。両契約ともに、長年の製品開発で培った技術力を生かした製品を提供するなど、選手のパフォーマンスを最大限に発揮できるようサポートします。

2015年にはイングランドで、2019年にはアジアで初となる日本でワールドカップが開催されます。代表チームに当社製ウェアやシューズを着用していただき、積極的な露出を図ることで、グローバルでのブランド認知拡大、スポーツウェアおよび競技スポーツにおける製品の信頼性の向上を目指します。



南アフリカ共和国ラグビー協会 (SARU) の
オフィシャルロゴ



オーストラリアラグビー協会 (ARU) の
オフィシャルロゴ

テキサス・レンジャーズのダルビッシュ有選手とアドバイザー契約を締結

米国MLB (メジャーリーグベースボール) テキサス・レンジャーズのダルビッシュ有選手とアドバイザー契約を締結しました。同選手の意見を取り入れながら、当社の技術を盛り込んだ製品を提供するなどサポートを行うとともに、プレミアムスポーツブランドとしてのアシックスの「顔」として、同選手を起用したマーケティング活動をグローバルで行うなどにより、アシックスブランドの価値向上を図ります。

また、今回の契約に合わせて、最高の機能と最新のデザイン性を兼ね備えたダルビッシュ有選手モデルの野球用グラブ5品番 (硬式用2品番、軟式用2品番、ジュニア軟式用1品番) を、2013年9月から日本全国の野球用品専門店、スポーツ用品店で発売しています。



ダルビッシュ有選手モデルの野球用グラブ



世界7カ国の陸上競技代表選手にグローバルで統一した「アシックス スパイラル」を採用したオフィシャルウエアを提供

第14回世界陸上競技選手権大会(2013年/モスクワ)において、オフィシャルパートナー契約を結ぶ世界7カ国*の陸上競技代表選手に、オフィシャルウエアを提供しました。当社のプロモーションマークである「アシックス スパイラル」を配したウエアを着用した選手たちの活躍により、アシックスブランドをグローバルレベルでアピールできました。

このアシックス スパイラルは、ASICSの“a”をモチーフにスポーツの持つ限りないスピード感、躍動感、無限の可能性をなめらかな曲線を用いシンプルかつ個性的に視覚化したものです。

※日本、オランダ、フランス、イタリア、フィンランド、オーストラリア、韓国

「アシックス スパイラル」



日本



オランダ



フランス



イタリア



フィンランド



オーストラリア



韓国

アシックスのリテール事業が国際的な賞「International Retailer 2013」を受賞

ランニング用品を中心に取り揃えた旗艦店「アシックスストア」および「アシックス」ブランドを取り扱うファクトリーアウトレットなど、当社のリテール事業のコンセプトおよび業績が評価され、全世界で優れた小売業者やレジャー産業者を表彰する国際的な賞である「Retail and Leisure International(RLI)」*の「International Retailer 2013」を受賞しました。今回の受賞は、独創的なコンセプトで店舗運営を行い、さらにグローバルで展開を拡大させたことによるもので、ブランド価値向上にもつながったと高く評価されました。

アシックスは、世界各地で「アシックスストア」などの直営店を展開し、グローバル統一の店舗コンセプトでブランドの世界観を伝えてきました。今後も出店スピードを加速させながら、ブランドイメージのさらなる向上、売上拡大を図ります。

※主催：Retail and Leisure International雑誌社



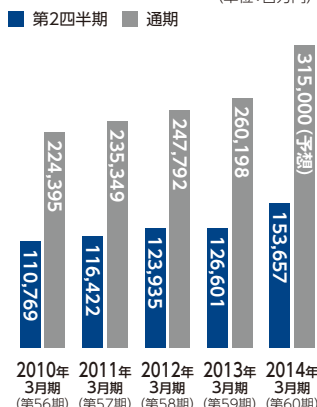
アシックスストアシドニー(オーストラリア)



アシックスストアバルセロナ(スペイン)

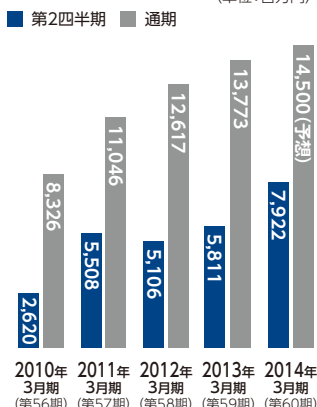
売上高

(単位:百万円)



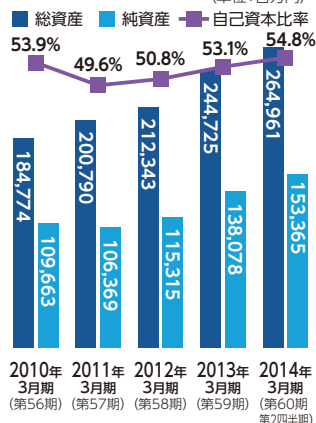
当期(四半期)純利益

(単位:百万円)



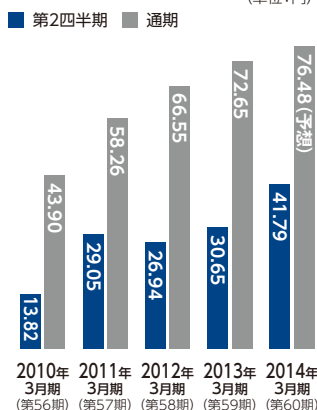
総資産・純資産・自己資本比率

(単位:百万円)



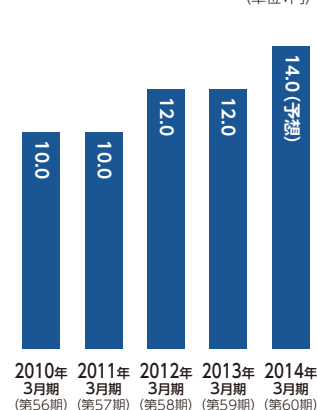
1株当たり当期(四半期)純利益

(単位:円)



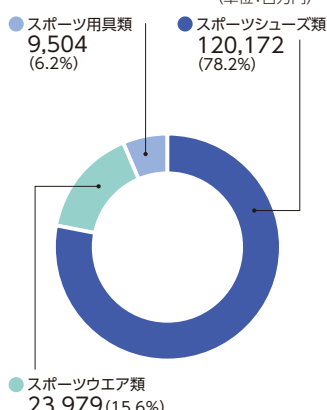
1株当たり配当金

(単位:円)



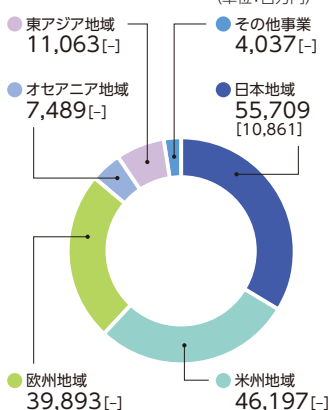
分類別売上高

(単位:百万円)



報告セグメント別売上高

(単位:百万円)



※ [] 内は、セグメント間の内部売上高(内訳)です。内部売上高がない場合は[-]と表示しております。

○ 通期連結業績予想

(単位:百万円)

	2013年3月期 第59期(実績)	2014年3月期 第60期(予想)	前期比 増減率
売上高	260,198	315,000	21.1%
営業利益	18,663	24,500	31.3%
経常利益	20,526	24,000	16.9%
当期純利益	13,773	14,500	5.3%
1株当たり当期純利益 (単位:円)	72.65	76.48	—

POINT解説

● 経営成績に関する分析

当第2四半期連結累計期間における**売上高**は153,657百万円と前年同期間比21.4%の増収となりました。このうち国内売上高は、主にランニングシューズおよびベースボール用具が好調であったことに加え、自主管理売場の拡大に伴いウォーキングシューズおよびオニツカタイガーシューズが好調であったことなどにより、45,095百万円と前年同期間比3.9%の増収でした。海外売上高は、米州および欧州などでランニングシューズが好調に推移したことおよび為替換算レートの影響により、108,562百万円と前年同期間比30.5%の増収となりました。

売上総利益は主として売上高が増加したことにより、68,597百万円と前年同期間比25.6%の増益となりました。販売費及び一般管理費は、主に広告宣伝費および韓国子会社における支払手数料が増加したことなどにより、54,736百万円と前年同期間比25.4%の増加となり、**営業利益**は13,860百万円と前年同期間比26.4%の増益となりました。**経常利益**は為替差損が減少したことなどにより、14,015百万円と前年同期間比40.0%の増益となりました。**四半期純利益**は旧関東柏配送センターの土地売却による固定資産売却益の計上などにより、7,922百万円と前年同期間比36.3%の増益となりました。

● 財政状態に関する分析

総資産264,961百万円(前連結会計年度末比8.3%増)、**負債**の部合計111,595百万円(前連結会計年度末比4.6%増)、**純資産**の部合計153,365百万円(前連結会計年度末比11.1%増)でした。

○ 会社概要 (2013年9月30日現在)

社名 株式会社アシックス
創業 昭和24年9月1日
資本金 239億7千2百万円
事業内容 各種スポーツ用品等の製造および販売
本社所在地 〒650-8555
神戸市中央区港島中町7丁目1番1
TEL : (078) 303-2231
FAX : (078) 303-2241
従業員数 6,220名 (連結)

○ 役員 (2013年9月30日現在)

代表取締役社長CEO	尾山 基	上席執行役員	ジョン・モレンジャー
取締役 常務執行役員	佐野 俊之		ロナルド・ピーターセン
	松尾 和人	執行役員	山根 至
	橋本 幸亮		小幡 俊夫
取締役執行役員	土方 政雄		西谷 透
	加藤 克巳		ケビン・ウルフ
	加藤 勲		アリスティア・キャメロン
取締役(社外)	梶原 健司	常勤監査役	石塚 達信
	田中 克郎		稲葉 光彦
	宮川 圭治	常勤監査役(社外)	田中 秀明
		監査役(社外)	三原 秀章

○ 株式状況 (2013年9月30日現在)

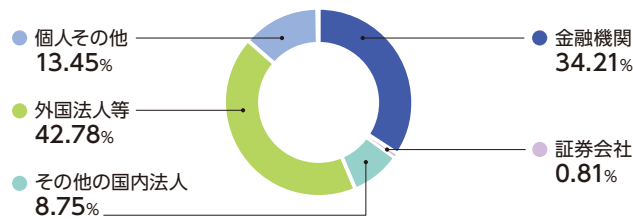
発行可能株式総数 790,000,000 株
発行済株式の総数 199,962,991 株
(うち自己株式10,376,875株)
株主数 20,159 名

○ 大株主 (上位10名)

注) 持株比率は、自己株式を除いて計算しております。

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社三菱東京UFJ銀行	7,858	4.1
株式会社三井住友銀行	6,607	3.5
日本生命保険相互会社	5,994	3.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,602	3.0
株式会社みずほ銀行	5,568	2.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,534	2.9
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505225	4,262	2.2
株式会社みなと銀行	4,208	2.2
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニパス アカウント	3,781	2.0
サジヤツツ	3,605	1.9

○ 分布状況 (所有者別)



株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日 3月31日
定時株主総会 毎年6月中
単元株数 100株
公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.asics.co.jp/ir/>
(ただし、事故その他やむをえない事由によって
電子公告による公告ができない場合は、日本経済
新聞に掲載する方法により行います。)
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
tel. 0120-094-777(フリーダイヤル)
特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社
同連絡先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
tel. 0120-288-324(フリーダイヤル)

(ご注意)

- 株式に関する各種手続き(住所変更、単元未満株式の買取・買増等)は、株主様の口座が開設されている証券会社にご連絡ください。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記みずほ信託銀行へご連絡ください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未払配当金のお支払いについては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。
- 特別口座で管理されている株式につきましては、一般口座にお振り替えいただくことができます。お手続きにつきましては、上記みずほ信託銀行にお問い合わせください。

株主総会・IRに関する発表資料、決算発表資料、アニュアルレポート(英文)など株主・投資家向けの情報については当社ホームページ(<http://www.asics.co.jp/ir/>)に掲載しています。

当社通信販売サイトがリニューアルしました

お客様からの声が多かった商品情報の充実といったご要望にお応えし、情報量を増やしながらより検索しやすく、気に入った商品を当社ウェブサイト上で手軽にご購入いただけるようになりました。

商品ページ



「アシックスオンラインストア」での株主様ご優待制度

100株以上ご所有の株主様は、「アシックスオンラインストア」に掲載されている商品を20%割引でご購入いただけます。是非ご利用ください。

※ご注文の際は、下記ウェブサイトにてご利用方法をご確認のうえ、ご注文ください。
なお、割引の適用には「株主コード(プロモーションコード)」のご入力が必要ですのでご注意ください。

<http://www.asics.co.jp/shop>

アシックスオンラインストア

検索



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。